

YMCA健康福祉専門学校

## 健康福祉ニュース

### What's New!

・2011年度がスタートしました

・今、私たちにできること

### 他人事では済まされない問題

未曾有の災害に襲われた東北地方…。私たちの予想をはるかに超えた大地震・大津波の被害は、万の死を現実のものとしてしまいました。

3月11日午後2時46分宮城県沖南北に500km、東西に200kmに及ぶ震源域のあるアメリカプレートの下に東から太平洋プレートが年間8cmという速さで沈み込み、そのひかりが外れたことによってマグニチュード9という最大級の地震が発生しました。海底の大きなプレートの戻りによる反動で、その上にある膨大な海水を押し上げ、その押し上げられた海水が四方八方に津波となり、時速100kmを超える速さで同心円状に広がって行きました。約30分後…岩手県、宮城県、福島県、茨城県の沿岸地域には、高さ10mを超える大津波となって町に襲いかかり、地上にあるものすべてのものと人々の生活のすべてを飲み込みました。津波は堤防を破壊し、防砂林の松並木をなぎ倒し、船も家も車もおもちゃのように軽々とはねのけました。山を駆け上がり高台に避難している住民の目の前で逃げ遅れた人をもさらっていきました。そしてしばらくして押し寄せた膨大な海水は、引き波となり、すべてが海に引きずり込まれてしまいました。地上からは、すべてが無くなりました。自然の驚異を目の当たりにして、「私たちがどんな罪を犯しましたか？」と神様に問うた人も多かったことでしょう。家族を亡くし、友を亡くし、過去も将来も生活そのものを奪われた被災地…。誰もが夢であってほしい…そう願っていました。その現実を受け入れるには、あまりにも私たち人間は小さすぎます。これから長い長い時間をかけて少しずつ受け入れていくことになることなのでしょう。私たちの住む地域には、相鉄線の大和駅近くに「米軍の厚木基地」があります。鼓膜が破れるかと思うほどの戦闘機の騒音は、近くで会話していても、相手の声をかき消してしまいます。沖縄も同様に基地問題を抱えています。他人事では済まされない問題は、震災被災地と同じです。福島県郡山市の小学校のグラウンドが放射能線量が高いことが理由で屋外体育の授業ができなかったそうで、グラウンドの表面を6cmほど削ることで放射線量が10分の一に減少したそうです。しかし、問題は削った土の廃棄場所…。どこの住民も「雨で流れ出さないか」「何で自分が住む町なのか」と受け入れを拒否しています。確かに何が起きるかわかりませんから心配ですし、もしもの事があるかも知れません。でもどこかが受け入れなければなりません。米軍基地、原子力発電所、墓地、火葬場、ごみ焼却場…。沖縄県民が「なぜ沖縄ばかりが…」という気持ちがわかります。そしてなぜ東北地方なのか。しかし、ここで良いという場所なんてどこにもありません。しかし、どこかで受け入れなければならないのです。その場所はいったいどうやって決めればよいのでしょうか。



YMCA健康福祉専門学校  
校長 小林 一郎



インストラクターは時に優しく、時に厳しく…

## スキーキャンプ実習

今年も群馬県尾瀬戸倉スキー場で行われたスキーキャンプ実習に、こども総合科1年生が参加しました。5泊6日という、本校で最も長いこのキャンプ。スキー経験者も初心者もみな、SAJバッヂテスト合格をめざしてインストラクターのもととスキーに取り組みます。

2日、3日と練習を重ねるうち、一人ひとりがスキーの特性に気づき、自分の課題も明確になっていくと、技術もどんどん上達していきます。食事以外はほぼスキー漬けの毎日で、多くの学生が「できなかったことができるようになっていく」ことを体感しました。将来子どもたちに関わ

る仕事に就いた時、一生懸命なガンバリが形になることを伝えられる保育士になってくれると思います！

SAJ検定も全員が受検しました。自分の滑りが終わっても、仲間たちの滑りをしっかり応援しています。検定中に転倒し、諦めてしまいそうになった学生がいました。しかし「最後までがんばろー」と声を掛ける学生たちの励ましに応じて、コースへ戻り、最後まで滑りきる場面もありました。

今年も2級に4名が合格！ケガもなく元気に下山できました！



## 卒業式 - 卒業生答辞より

3月11日に起きた東日本大震災は多くの被害をもたらし、私たちが今までに経験したことのないような不安が今でも続いています。このような中、こうして皆で集い、卒業式を執り行えたことに感謝いたします。

私たちは、今日、卒業の時を迎えることができました。

(中略)

私は、学業の一環として、この3年間、子どもや障害のある方々の水泳・体操指導を続けてきました。初めは、大好きだった子どもたちに触ることさえできませんでした。仲良くしたいのに子どもたちにはそっぽを向かれたり、頑張れば頑張るほど先輩たちに叱られました。なんでうまくいかないのだろう、私の選択は間違っていたのだろうか、と思い始めた時、4年生の男の子と出会いました。ある日、ふざけてばかりで、まじめに練習取り組まないその子に、私はついカッとなって注意をし、言い争いになりました。気まずい思いを抱えて練習を重ね、その子との距離が遠くなっていくと感じていたある日、いつものようにふざけていたその子の目がしっかりと私を見ていることに気づきました。この子なりの一生懸命さに気づいていなかったのは私だ…と思った時、気まずさばかりが先だっで、きちんとその子と向きあえていない自分に気づいたのでした。障害児のクラスでは、子どもとの関わり方が分からず、悩みましたが、何よりもその子たちのお母さんにたくさんのアドバイスと励ましをいただきました。決してうまく指導できているとは言えなかったと思いますが、お母さんたちは、いつでもやさしく私たちを見守ってくださいました。指導前後のちょっとした時間には、保育士になりたい私に、障害児と関わる際のアドバイスを与えてくれたりもしました。(中略)

そうして、私は、人と関わる時、自分の想いも一生懸命に伝えて、相手の気持ちも一生懸命に聴くようになりました。口数の少ない子には返事を求めるのではなく、積極的に私から話しかけました。うまくいかないとき、分からないことは先生にも相談しました。人との関係を作るのは、自分の努力が必要、でもそれは取り繕う

のではなく、思いやりをもって、誠実に向き合うことが必要なのだ、ということはこの3年間で学びました。辛い時にもうれしい時にも、話を聴いてくれ、共に泣きあった、クラスメイトの存在も、私にとって大切な宝物です。一人じゃない、って思えたからこそ、私は弱い自分とも向き合うことができたのだと思います。みんなと別れるのは寂しいけど、これから、それぞれの道に進んでも、きっと、どこかで心配してくれたり、気にかけてくれるって思うだけで、頑張れそうな気がしています。これから先もいろんな困難に遭遇すると思うけれど、これらの宝物を持っている私は、きっと乗り越えて行ける、そう思っています。在校生のみなさん、YMCAでの学校生活には、たくさん宝物が詰まっています。皆さんはどんな宝物を得ることができたでしょうか？自分で努力すれば、必ず見つかる宝物を、これから出会う人々との関わりの中からもたくさん探してください。

学校生活を支えてくださった先生方、今まで本当にありがとうございました。授業だけでなく、一つ一つの行事を私たちと同じ目線で、一緒に参加してくれたこと、たくさん語り合ったこと、一生忘れません。また、お父さん、お母さん、スムーズな学校生活を送るために、たくさん協力してくれてありがとう。朝早くからの実習の時も、長丁場にわたるキャンプに行くときも、助けてくれて、本当にうれしかったよ。

こうしてたくさんに人に支えられ、私は4月からいよいよ保育士として働きます。専門職と名乗るには、まだまだ頼りないかもしれないけれど、これから出会う人々との出会いを大切に、YMCA専門学校の卒業生として、責任を持って業務に携わっていきたいと思っています。

みなさま、本当にありがとうございました。

卒業生代表  
YMCA健康福祉専門学校  
福祉スポーツ科専攻科 大木望里



## ブラジル人学校「アクアレラ」との交流

YMCA健康福祉専門学校とスポーツなどで交流しているブラジル人学校「エスコラ・アクアレラ・ブラジル」。毎回のスポーツ交流と合わせて「もちつき」を行いました。アクアレラの子どもたちは、学校の授業で日本の食文化やもち米などについて勉強をしての参加してくれました。体育館も、もちつきの教室もたくさん笑顔と笑い声が溢れていました。今までで最も多く44名が参加！つきたてのお餅もあつという間に完食！！でした。

定期的に行っているアクアレラとの交流ですが、3/13に予定していた三浦ふれあいの村でのデイキャンプは、震災のため実施できませんでした。震災後、多くの子どもたちや先生は家族

とともに帰国しました。現在、アクアレラに通う子どもは3～5歳の子が中心で、「保育」の役割が大きくなってきました。

そこで、5月からYMCA健康福祉専門学校の卒業生が保育士としてアクアレラをお手伝いすることになりました！

込山さんは、在学中に「ボランティアinタイ」にも参加して、国際交流にも関心を深く持っています。「外国籍の子どもが小学校入学後に言葉の壁で苦労する話は、聞いていました。保育士として自分に何ができるのかわからないけれど、アクアレラの先生たちが今、とても困っていることはわかるので、一緒に頑張ります。」と話してくれました。今年もたくさん交流できるよう、学生たちも気合が入ります！



さとみ先生です、と紹介！



## いま、わたしたちにできること - 街頭募金

東日本大震災を受け、私たちにできることの第1弾として4月4日から8日までの間に3回、本厚木駅前で、「街頭募金」実施しました。宮城から避難しているという方が、涙ながらに「ありがとう」と募金をしてくださいる場面もありました。いろいろな人との関わりや優しさを感じられたことは、素晴らしい体験となりました。

3回の合計額は ¥96,703でした。これからも引き続き、私たちにできる支援を続けていきます。



トップバッターは3年生。街頭募金ももうベテランです。

## 入学式

今年も県立音楽堂で、横浜YMCA専門学校の合同入学式を行いました。YMCA健康福祉専門学校も日本語学科を含めて約70名の新入生をお迎えすることができました。入学式には大勢の保護者の方もいらっしゃいました。

入学式の後は、恒例の各校在校生による歓迎パフォーマンスを行います。昨年からはYMCA健康福祉専門学校では、学生自作のスタンツ(劇)で、学校を紹介しています。今年のタイトルは「Spirit」！こども総合科の2年生を中心に作成しま

した。いきものがかりの歌をベースにして、学校生活では自分の思い通りにいかないこと、思うようにできないことがきつとある。でもそのときことチャレンジ！絶対に立派な専門職になるために、周りに流されることなく、そして配慮することを忘れずにこれからの毎日と一緒にがんばろう！というメッセージが込められていました。

新入生の皆さん、一緒にがんばりましょう！！



各校の歓迎パフォーマンスの後は、合唱をしました

**YMCA\_kenko**  
 ツイッターを始めました。学校生活のことや、イベント情報などをお伝えしています。ぜひフォローしてくださいね。

→<http://yokohamaymca.ac.jp/health/>

Follow us

## YMCA健康福祉専門学校 2011年度のオープンキャンパス

YMCA健康福祉専門学校では、年間を通してオープンキャンパスを実施しています。毎回、午前と午後の2回開催します(9:30～/14:00～)。

専門職の先生や在校生に気になることを何でも聞いてみよう!

|             |           |           |          |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 5月7日(土)     | 5月21日(土)  | 6月4日(土)   | 6月18日(土) |
| 7月2日(土)     | 7月16日(土)  | 7月30日(土)  | 8月6日(土)  |
| 8月7日(日)     | 8月20日(土)  | 8月27日(土)  | 9月10日(土) |
| 9月24日(土)    | 10月8日(土)  | 10月22日(土) | 11月5日(土) |
| 11月19日(土)   | 12月10日(土) | 12月17日(土) | 1月7日(土)  |
| 1月21日(土)    | 2月4日(土)   | 2月18日(土)  | 3月3日(土)  |
| 午前と午後の2回開催! |           |           |          |



### ●●YMCA推薦で受験ができる●●

オープンキャンパスでYMCAのこと、学校・学科のことを理解してもらえたかどうか、そして参加した皆さんの夢がYMCAでかなえられるかどうかを確認します。その結果「YMCA推薦証」が発行されます。この推薦証をもっていると、入学試験において「YMCA推薦入試」を受験することができます。YMCA推薦入試はなんと書類選考のみでの受験が可能になります。



YMCA健康福祉専門学校

こども総合科  
福祉スポーツコース  
人間福祉コース  
介護福祉科

〒243-0018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: ymkenko@yokohamaymca.org

HP: <http://yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分  
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ!

保育士・介護福祉士をめざすなら!!  
<http://yokohamaymca.ac.jp/health/>

**Believe in your dreams!**

～夢をカタチにする～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。